

引証資料リストの作成

目次	p. 1
I. 引証資料リストとは	p. 3
II. 引証資料リストのレイアウト	
A. 見出し	p. 3
B. その他	p. 3
III. 引証例	
A. 書物	
● <u>著者が1人の場合。</u>	p. 4
● <u>著者が2人の場合。</u>	p. 4
● <u>著者が3人以上の場合。</u>	p. 5
● <u>編者が1人の場合。</u>	p. 5
● <u>編者が2人の場合。</u>	p. 5
● <u>訳者の場合。</u>	p. 6
● <u>単著者による複数の書物の場合。</u>	p. 6
● <u>複数の同著者による書物。</u>	p. 7
● <u>アンソロジーとその中に含まれる作品を引証する場合。</u>	p. 7
● <u>複数巻の書物の場合。</u>	p. 9
● <u>参考図書の場合。</u>	p. 10
● <u>第2版以降の版の書物の場合。</u>	p. 11
● <u>学術版の書物の場合。</u>	p. 11
● <u>複数の出版社による書物を引証する場合。</u>	p. 12
● <u>著者・編者不詳の書物を引証する場合。</u>	p. 12
● <u>出版情報やページ数の明記のない書物を引証する場合。</u>	p. 12
B. 定期刊行物（論文、雑誌、記事、新聞）	
● <u>論文の場合。</u>	p. 14
● <u>新聞中の記事・論文の場合。</u>	p. 15
● <u>雑誌中の記事・論文の場合。</u>	p. 16
● <u>シリーズ番号がある場合。</u>	p. 16
● <u>評論の場合。</u>	p. 17
● <u>著者不明の記事・論文の場合。</u>	p. 17
● <u>パンフレットなどを含む不定期刊行物。</u>	p. 17
● <u>序文、はしがき、まえがき、あとがきの場合。</u>	p. 18
● <u>既刊の学術論文を引証する場合。</u>	p. 19

● <u>未刊の学術論文を引証する場合。</u>	p. 19
C. 書物以外のメディア	
● <u>ウェブサイトから詩を引証する場合。</u>	p. 20
● <u>ウェブサイトから論文を引証する場合。</u>	p. 20
● <u>オンライン上の映像作品を引証する場合。</u>	p. 21
● <u>オンライン上の音楽作品を引証する場合。</u>	p. 22
● <u>映画を引証する場合。</u>	p. 22
● <u>展示物を引証する場合。</u>	p. 22
● <u>マンガを引証する場合。</u>	p. 22
D. マイナーな引証	
● <u>シリーズ中の書物</u>	p. 23
● <u>再販の場合。</u>	p. 23
● <u>内部出版の場合。</u>	p. 24
● <u>小冊子・パンフレット・公式発表を引証する場合。</u>	p. 24

I. 引証資料リストとは

論中で引用した資料の詳細情報を、リスト状にまとめたものである。また、本文中の括弧内傍証と対応させる事で、筆者が使用した資料を読者が簡単に見つけられるようになる。

引証リストを作成の際に考えることは、「参考した資料をどのように引証したか」を記すことである。下記の表は、核となる考え方である。

1	Author.
2	Title of source.
3	Title of container,
4	Other contributors,
5	Version,
6	Number,
7	Publisher,
8	Publication date,
9	Location.

引証資料は、資料によって書き方が実に様々あるので、ここでは比較的良好に使うと思われるものを挙げていく。

II. 引証資料リストのレイアウト

上下左右・フォントの種類・フォントサイズは本文と同じ。

A. 見出し

引証資料・・・14 フォント、センタリング。

B. その他

1. 各資料の出だしは、左詰めにする。2行以上に渡るときは、2行目以降を半角5（グリッド線約2.5が目安）さげる。
2. 資料の並べ方は、洋書（アルファベット順）→和書（五十音順）の順にする。
和書はカタカナ・平仮名・漢字などを気にすることなく五十音順にしてよい。
3. ページ数は本文のページナンバーに続けて、各ページにナンバーをつける。

Ⅲ. 引証例

A. 書物

● 著者が1人の場合。(MLA 第8版 p.21 参照)

【洋書】

Silverstein, Shel. *A Light in the Attic*. Harper Collins, 1981.

著者名 / **書名** / **出版情報**

- a. 著者名・・・姓と名前を逆にし、カンマで区切る。名前の後ろにはピリオド。
- b. 書名・・・書名はイタリック体にし、その後ろにピリオド。
- c. 出版情報・・・出版社の後にカンマ、出版年の後にピリオド。出版年は使用した資料の発行年を用いる。

【和書】

平野敬一、『マザー・グースの唄』、中央公論社、1972年。

著者名 / **書名** / **出版情報**

● 著者が2人の場合。(MLA 第8版 p.21 参照)

【洋書】

Dorris, Michael, and Louise Erdrich. *The Crown of Columbus*. HarperCollins Publishers, 1999.

- a. 1人目の著者名はカンマで区切る。名前の後ろにはピリオド。
- b. 2人目の著者名は、通常に名前を書く。
- c. 名前の順は、表紙や出版情報に載っている順などを参考にする。

【和書】

せきしろ・又吉直樹、『カキフライが無いなら来なかった』、幻冬舎、2009年。

- a. 著者を「・」で区切る。

● 著者が3人以上の場合。(MLA 第8版 p.22 参照)

【洋書】

Burdick, Anne, et al. *Digital Humanities*. MIT P, 2012.

- a. 洋書では「et al.」を用いて2人目以降を省略する。

【和書】

村上春樹ほか、『東京するめクラブ：地球のはぐれ方』、文藝春秋、2008年。

- a. 和書では「ほか」を用いて2人目以降を省略する。

● 編者が1人の場合。(MLA 第8版 p.23 参照)

【洋書】

Allen, Donald, editor. *On Bread & Poetry: A Panel Discussion with Gary Snyder, Lew Welch & Philip*

編者名 /

書名

Wahen. Bolinas, Grey Fox Press, 1977.

/ **出版情報**

- a. 編者名・・・姓と名前を逆にし、カンマで区切り、名前の後ろに“editor.”と記載し、ピリオド。

【和書】

新倉俊一編、『エミリ・ディキンソンの詩の世界』、国文社、2011年。

編者名 /

書名

/ **出版情報**

● 編者が2人の場合。(MLA 第8版 p.23 参照)

【洋書】

Merril, Thomas F. and Sylvia E. Bowman, editors. *Allen Ginsberg*. ～

- a. 編者名・・・姓と名前を逆にし、カンマで区切り、名前の後ろに“editors.”と記載し、ピリオド。

【和書】

稲垣則子・市川禎子編、『歌集 同行二人のやうに』、文芸社、2014年。

● 訳者の場合。(翻訳された書籍を引証する) (MLA 第8版 p.37 参照)

【洋書】

Chartier, Roger. *The Order of Books: Readers, Authors, and Libraries in Europe between the Fourteenth Centuries*. Translated by Lydia G. Cochrace, Stanford UP, 1994.

【和書】

シェル・シルヴァスタイン著、『屋根裏の明かり』、倉橋由美子訳、講談社、1984年。

著者名 / **作品名** / **訳者名** / **出版情報**

- a. 著者名・・・著者名の後ろに「著」を付け、読点で区切る。
- b. 書名・・・二重鍵括弧『』で括り、その後ろに読点を打つ。なお、和書名が英語の場合も『』で括ること。
- c. 訳者名・・・訳者名のあとに「訳」、読点で区切る。
- d. 出版情報・・・出版社・出版年の順で書き読点で区切って、句点でくくる。
出版年は半角を用い、洋書と同様、使用した資料の発行年を記す。

● 単著者による複数の書物の場合。

引証する際に同じ著者名が複数ある場合、著者名は半角ハイフン3つ(---)で省略する。順番は書名で揃え、洋書をアルファベット順、和書を五十音順でそれぞれ並べる。

【洋書】(MLA 第8版 p.113 参照)

Silverstein, Shel. *A Light in the Attic*. Harper Collins, 1981.

---. *Where the Sidewalk Ends*. Harper Collins, 1974.

【和書】

ジョン・マックスウェル・クッツェー著、『イエスの幼子時代』、鴻巣友季子訳、早川書房、2016年。

---、『世界文学論集』、田尻芳樹訳、みすず書房、2015年。

---、『マイケル・K』、くぼたのぞみ訳、岩波書店、2015年。

邦訳書の場合、訳者と著者が同じ人物であれば訳者・著者を同時に省略することができる。

【例】

シェル・シルヴァスタイン著、『歩道の終わるところ』、倉橋由美子訳、講談社、1979年。

シェル・シルヴァスタイン著、『屋根裏の明かり』、倉橋由美子訳、講談社、1984年。

上記の2つの資料は次のように省略することができる。

シェル・シルヴァスタイン著、『歩道の終わるところ』、倉橋由美子訳、講談社、1979年。

--- 『屋根裏の明かり』、講談社、1984年。

● **複数の同著者による書物。**

執筆に関わっている著者名がまったく同じであれば半角のハイフン 3 つを並べて省略することができる。

【洋書】 (MLA 第8版 p.114 参照)

Gilbert, Sandra M., and Susan Gubar, editors. *The Female Imagination and Modernist Aesthetic*. Gordon and Breach Science Publishers, 1986.

---. "Sexual Linguistics: Gender, Language, Sexuality." *New Literary History*, vol. 16, no. 3, Spring 1985, pp. 515-43. *JSTOR*, www.jstor.org/stable/468838.

【和書】

谷川俊太郎・秋田健一・平野敬一著、『グースお婆さんの童話集』、講談社、1979年。

--- 『マザーグース』、講談社、1979年。

● **アンソロジーとその中に含まれる作品を引証する場合。**

アンソロジーとは、異なる著者の作品で構成されている書物。

例1) 書物全体を引証する場合

【洋書】 (MLA 第8版 p.26 参照)

Baron, Sabrina Alcorn, et al., editors. *Agent of Change: Print Culture Studies after Elizabeth L. Eisenstein*. U of Massachusetts P / Center for the Book, Library of Congress, 2007.

【和書】

加藤静夫ほか編、『物語の楽しみ』、ナカニシヤ出版、2001年。

- a. 書物の編者を記し（3人以上いれば「ほか」を用いて省略可能）、あとは通常。

例2）書物の一作品（エッセイ、物語、詩）のみを引証する場合

【洋書】

Dewar, James A., and Peng Hwa Ang. "The Cultural Consequences of Printing and the Internet." *Agent of Change: Print Culture Studies after Elizabeth L. Eisenstein*, edited by Sabrina Alcorn Baron et al., U of Massachusetts P / Center for the Book, Library of Congress, 2007, pp. 365-77.

- a. 書物から参照する一作品を“”で括り、著者名の後ろに書く。
- b. 出版情報の最後に、引証した作品のページ数を記載する。

【和書】

小泉純一著、「シェルおじさんの詩のある絵本」、『物語の楽しみ』、加藤静夫ほか編、ナカニシヤ出版、2001年、172-195頁。

例3）書物の作品を複数引証する場合

不要な繰り返しを避けるために、まずは書物の完全な項目を作成し、その後にそれぞれの作品を引証する。

【和書】

小泉純一著、「シェルおじさんの詩のある絵本」、加藤静夫ほか編、172-195頁。
原成吉著、「ゲーリー・スナイダーと和の心」、加藤静夫ほか編、45-62頁。

- a. 作品の著者名、「作品名」、書物の編者（読点は不要）頁数。
- b. 作品は以上の項目を記し五十音順に並べる。

● 複数巻の書物の場合。

洋書と同じように、全巻数を書名の後・出版情報の前に置く。

例 1) 複数巻を全体的に引証する場合

巻や頁数など具体的な引証は、本文中の括弧内傍証に記す。

a. 複数巻が同一年に出版されている場合

谷川俊太郎ほか著、『マザーグース』、全4巻、講談社、1981年。

b. 巻数が数字ではなく、「上下」の場合

谷川俊太郎ほか著、『マザーグース』、上下巻、講談社、1981年。

c. 各巻が複数年にわたって出版された場合

谷川俊太郎ほか著、『マザーグース』、全4巻、講談社、1981-84年。

・記載の最後に刊行開始完結年を加える。

例 2) 複数の巻の1巻しか引証しない場合

例えば、全4巻中の2巻しか使わなかったときは、

谷川俊太郎ほか著、『マザーグース』、第2巻、講談社、1981年。

a. 巻数の前には「全」ではなく「第」を用いて記す。

〈補足事項〉

- 必須ではないが、基本情報に続けて、全巻に関する補足情報を加えてもよい。
——▶ ・Vol.、巻番号、of、著作物全体の書名（イタリック体で）、全巻数という順
・刊行が数年にわたる場合は刊行開始完結年も記す。
- 必須ではないが、他の関連する出版情報（例えば、数年にわたったものなら、刊行開始完結年）と共に、補足情報として全巻数をリストの最後に、出版媒体の後に加えてもよい。
(例)
・Wellek, Rene. *A History of Modern Criticism, 1750-1950*. Vol. 5. Yale UP, 1986. 8 vols. 1955-92.
出版媒体 / 全巻数 / 他の関連する出版情報（刊行開始完結年など）
- 記載する巻が複数巻の学術版のうちの一部であるときも同様に、版全体についての補

足情報を加えてもよい。

→ ・当該の巻の出版情報の後に続けて、巻番号、of、全巻の書名（イタリック体で）、複数巻の編集主幹名、コンマ、gen. ed. (general editor「編集主幹」の略)、全巻数、および版の刊行開始完結年の順で記す。

→1人の人物が全体の編集者である場合は、編集者名は、当該の巻の書名の後ではなく、版全体の書名の後に記す。

(例)

・ Howells, W. D. *Their Wedding Journey*. Ed. John K. Reeves. Indiana

当該の巻の出版情報

UP, 1968. Print. Vol. 5 of *A Selected Edition of W. D. Howells*. Edwin H. Cady,

巻番号 / of / 全巻の書名 / 複数巻の編集主幹名

gen. ed. 32 vols. 1968-83.

gen. / ed / 全巻数 / 刊行開始完結年

● 参考図書の場合。(言葉の定義を辞書から引用する)

例えば論中で、言葉の定義を辞書から引用した場合、その資料も引証しなくてはならない。

例) 以下のように引用した場合

想像力とは英語で“*imagination*”と訳される。『オックスフォード英語辞典』(*The Oxford English Dictionary*)を調べてみると様々な定義がなされているが、それらの中で4番目の意味が本論で意図する「想像力」に最も近いのでさらに詳しく見てみよう。

4. The power which the mind has of forming concepts beyond those thrived from external objects (the ‘productive imagination’).

a. The operation of fantastic thought; fancy.

b. The creative faculty of the mind in its highest aspect; the power of framing new and striking intellectual conceptions; poetic genius.

一般的に知られている辞書などは編者や頁数を記載する必要はないので、使用した定義、「Def.」、定義の番号、書名（イタリック体）、版、出版年を記せばよい。この例の場合

“*Imagination.*” Def. 4. *The Oxford English Dictionary*. 2nd ed. 1989.

というように引証する。ただし、あまり知られていない辞書などは通常の書物と同様に全て記す必要がある。

- 第2版以降の版の書物の場合。

タイトルページに版数、版名などが書かれていない場合はたいてい初版である。第2版やそれ以降の版を用いる時は、数詞(2nd ed., 3rd ed., 4th ed.)、版名(Rev. ed., Abr. ed.)、出版年(2008 ed.)などで版を明らかにする。

※Revised edition は、改訂版

Abridged edition は、簡約版

(例)

Baker, Nancy L., and Nancy Huling. *A Research Guide for Undergraduate Student: English and American Literature*, 6th ed., MLA, 2006.

Cavafy, C. P. *Collected Poems*. Translated by Edmund Keeley and Phillip Sherrad, edited by George Savidis, revised ed., Princeton UP, 1992.

- 学術版の書物の場合。

出版されている書物は、少なくとも1つの意味では、すべて「版」(edition)である。たとえば、「第1版」であるかもしれないし、「第2版」などであるかもしれない。しかし、研究者の間では、「版」という用語は著者以外の人物、つまり、編集者が出版用に準備した著作物についても用いられる。たとえば、2003年に印刷されたシェイクスピアの『ハムレット』は、明らかに、シェイクスピアによって出版準備されたものではない。それは、編集者が現存するさまざまな『ハムレット』の異本(version)の中から1つの異本を選び、綴りや句読符号の変更を決定し、注釈を加えたり、序文を書いたりしたものである。この2003年の『ハムレット』は「版」と呼ばれ、タイトルページにはシェイクスピアの名前とともに編集者名も記される。

版の記載にあたっては、主としてテキスト自体に論及するのであれば、著者名(著者不詳のときは書名)で始める。続いて、書名、Edited by、および編集者名を記す。正確を期すために初版の出版年を示したければ、書名のすぐあとにその年を記す。

著者名. 作品名. Ed. 編者名. 出版情報.

(例)

Austen, Jane. *Sense and Sensibility*. Edited by Claudia Johnson, Norton, 2001.

著者名 / 作品名 / Edited by 編者名 / 出版情報

● **複数の出版社による書物を引証する場合。** (MLA 第 8 版、p. 108 参照)

タイトルページに（同一出版社の 2 つ以上の支社ではなく）2 社以上の出版名が書かれているときは、出版情報の一部として、書かれている順にすべてを書く。

Duff, J. Wight. *A Literary History of Rose: From the Origins to the Close of the Golden Age*. Ed. A. M. Duff. 3rd ed. 1953. Benn / Barnes, 1967.

Tomlinson, Janis A., ed. *Goya: Images of Women*. Washington: Natl. Galley of Art. New Haven / Yale UP, 2002.

Wells, H. G. *The Time Machine*. 1895. Dent / Tuttle, 1992.

● **著者・編者不詳の書物を引証する場合。**

書物のタイトルページに著者名や編集者名がない場合、引証リストは書名で始める。Anonymou や Anon. (「作者不詳」、「匿名」) を用いてはならない。書名は、最前部の A, An, The を無視して、アルファベット順に配列する。(次の項目記載のサンプル中で、The Holy Bible: New International Version は h のもとに配列されていることに注意せよ。)

(例)

Encyclopedia of Virginia. Somerset 1993.

The Holy Bible: New International Version. Zondervan, 1984.

New York Public Library American History Desk Reference. Macmillan, 1997.

● **出版情報やページ数の明記のない書物を引証する場合。** (MLA 第 8 版、p.111)

- a. 書物に出版情報やページ数の記載がない場合、可能な限り自らで補う。
その場合は、補ったデータが原典からのものでないことを示す為に、角カッコで囲む。

(例)

U of Gotham P, [2008].

- b. またそのデータがおおよそのものである場合は、データの前に circa. を置く。

(例)

U of Gotham P, [circa. 2008].

- c. 補ったデータに確信がない場合は、クエスチョンマークを加える。

(例)

U of Gotham P, [2008?].

- d. 補うことの出来ないデータには、以下の省略記号を用いる。

- ・ 出版都市を記載

New York, 2008.

- ・ ページ付けなし NO PAGINATION

U of Gotham P, 2008. N. pag.

B. 定期刊行物（論文、雑誌、記事、新聞）

1. 著者名
2. 引証文献のタイトル
3. 冊子名
4. シリーズ番号または（関連があれば）シリーズ名
5. 巻番号
6. 号番号
7. 発行年
8. ページ範囲
9. 補足情報

著者名, “タイトル,” 冊子名, 巻番号, 号番号, 発行年, ページ範囲.

● 論文の場合。(MLA 第 8 版、p. 30 参照)

Piper, Andrew. “Rethinking the Print Object: Goethe and the Book of Everything.”

著者名 / 論文のタイトル /

PMLA, vol. 121, no. 1, 2006, pp. 124-38.

出版情報

- a. タイトルは引用符で囲み、閉じの前にピリオドを打つ
- b. 冊子名はイタリック体
- c. 冊子名のあとはコンマ
- d. 巻番号の前に vol. を付ける
- e. 号番号の前に no. を付ける
- f. 巻番号がない場合は号番号を冊子のタイトルの後ろにおく
- g. ページ数の前に p. または pp. を付ける。(p. は 1 ページのみを引用する際に使用、pp. は複数のページの引用する際に使う。) (MLA 第 8 版、p. 46)
- h. 月や時節が号番号に含まれている場合、それも付記する。

● 新聞中の記事・論文の場合。

下記の例は The New York Times 紙の同じ日の 2 つの版で同一記事が異なる欄に掲載された例である。

Jeromack, Paul. “This Once, David of the Art World Does Goliath a Favor.” *The New York Times*, 13 July 2002, late ed., A13+.

Jeromack, Paul. “This Once, David of the Art World Does Goliath a Favor.” *The New York Times* 13 July 2002, New England ed., A13+.

- a. 英語の新聞を記載するときは、発行人欄に書いてある新聞名を記す。
- b. 地方紙の新聞名に都市名が含まれてない場合は、新聞名のあとに角かっこに入れて補足する（イタリックにしない）。例： *Star-Ledger* [Newark].
- c. 全国紙、（例えば *Wall Street Journal* や *Chronicle of Higher Education*）の場合は、発行都市名を加える必要はない。
- d. 新聞名のあと、日、月年の順に発行年月日をすべて記す。
- e. May, June, July を除き、月名には省略名を用いる。
- f. 巻番号、号番号は、たとえ書かれていても、記さない。もしも版が発行人欄に書かれていれば、発行年月日の中にコンマをつけて、版を特定する。（natl. ed. 「全国版」、late. ed. 「遅版」）。これは、版が変われば内容も異なることがあるからである。
- g. 版(版が書かれていなければ、発行年月日)のあとには、コロンとページ番号を記す。
- h. ページ番号が降られていない場合、“1+” と記載する。

欄はそれぞれ独立にページ付けされていて欄番号や文字が書かれていることがあるが、欄標識はページ付けの一部ではない。その場合は発行年月日のあと（または、もしあれば、版のあと）、コンマ、sec. (section 「欄」の略)、該当する文字あるいは数字、コロン、およびページ番号を書く。

Haughney, Christine. “Women Unafraid of Condo Commitment.” *New York Times*, 10 Dec. 2006, late ed., sec. 11, 1+.

各欄がそれぞれ独立にページ付けされていて番号または文字ではなくタイトルのみによって示されている場合は、sec の前にタイトルを書く。

Dwyer, Jim. "Yeats Meets the Digital Age, Full of Passionate Intensity." *New York Times*, 20 July 2008, early ed., Arts and Leisure sec., 1+.

Alaton, Salem. "So, Did They Live Happily Ever After?" *Globe and Mail* [Toronto], 27 Dec. 1997, D1+.

● 雑誌中の記事・論文の場合。

McEvoy, Dermot. "Little Books, Big Success." *Publishers Weekly*, 30 Oct. 2006, pp. 26-28.

- a. 週刊あるいは隔週刊の雑誌の記事・論文を記載するときは、完全な出版年月日を書いて(日、月、年の順、May, June, July 以外は省略形)、そのあとにコロンを打ち、その記事、論文のページ範囲を記す。
- b. 記事・論文が連続ページで印刷されてないときは最初のページ番号だけ書き、スペースを空けずにプラス記号を付ける。巻番号と号番号は、たとえ書かれていても記さない。
- c. 月刊あるいは隔月刊の雑誌を記載するときは、月と年を記す。記事・論文が連続ページで印刷されていない場合は、雑誌と同じ手順で記載する。

● シリーズ番号がある場合。

Strirer, Richard. "Political Newtonism: The Cosmic Model of Politics in Europe and America." *William and Quarterly*, 3rd ser. vol. 52, no. 4, 1995, pp. 583-608.

- a. シリーズ番号はアラビア数字と接尾辞 (2nd, 3rd, 4th, etc.) と ser. を冊子名と巻番号の間に入れる
- b. 冊子名の後はピリオドなし

● 評論の場合。

(例)

Bordewich, Fergus M. Review of *Once They Moved like the Wind : Cochise, Geronimo, and the Apache Wars*, by Davud Roberts, and *Brave are My People: Indian Heros Not Forgotten*, by Frank Waters. *Smithsonian* Mar. 1994, pp. 125-31.

- a. 評者
- b. “Review of”と書く。
- c. 評論対象の作品名。イタリック体で書く。
- d. by 評論対象の本の作者。(その人が editor, translator, director としてなら、by の代わりに edited by, translated by, directed by と置く)
- e. ひとつの論文で評論する対象が 2 つ以上あるなら、and でつなぎ、評論中に出てくる順に並べる。
- f. 評論が掲載された定期刊行誌の名前。イタリック体で書く。
- g. 出版情報。

〈補足〉

- 評論にタイトルはあるが評者名がない場合は評論のタイトルにしたがってアルファベット順に配列する。
- 評論にタイトルも評者名もない場合は、項目は Review of で始め、評論対象の作品名によって、アルファベット順に配列する。

● 著者不明の記事・論文の場合。

(例)

“It Barks! It Kicks! It Scores!” *Newsweek*, 30 July 2001, p. 12.

記事のタイトル／ 掲載された刊行誌／日付／ページ数／出版媒体

● パンフレットなどを含む不定期刊行物。

(例)

著者名, タイトル, エディション番号, ボリュームナンバー, 出版社, 出版年.

1. 著者名
2. タイトル (イタリック体)
3. エディション番号

4. ボリュームナンバー

5. 出版社名、出版年

- a. 著者名が複数いた場合は、全員の名前を記入もしくは1人の名前を明記し、[et al] と記入して他を省略することが可能。
- b. アンソロジーやコンピレーションの場合、著者名の前に compiled by, edited by, translated by を記入。ただし1人で複数の役割を担当し、“translated and edited by ROBERT M. ADAMS”のようにタイトルページに明記されている場合、表記通りに translated and edited by Robert M. Adams. と記す。

● 序文、はしがき、まえがき、あとがきの場合。(MLA 第8版、p. 106 参照)

執筆者, 引用した構成部分(まえがき etc.), 作品のタイトル, by 作品の著者名, 出版社名, 出版年, 引用したページ.

- a. 最初にその執筆者名を書く。
- b. 次に引用した構成部分名を記す。大文字で始めるが、下線も引用符もつけない(つまり、次のように書く: Introduction, Preface, Foreword, または Afterword)。
- c. 執筆者と著者が同一人物の場合、by のあとは著者の苗字だけ記せばよい。
- d. 引用したページ数は必ず記載する。ページがローマ数字で書かれている場合はローマ数字で記す。

例1)

Borges, Jorge Luis, Foreword. *Selected Poems. 1923-1967*, by Borges, edited by Norman Thomas Di Giovanni, Delta-Dell, 1973, pp. xv-xvi.

Sears, Barry, Afterword. *The Jungle*. by Upton Sinclair, Signet, 2001, pp. 343-47.

もし引用したまえがきなどにタイトルがついていた場合、タイトルを引用符で囲み、構成部分の直前に記す。

例2)

Hadot, Pierre. “Prologue at Ephesus: An Enigmatic Saying.” Preface. *The Veil of Isis: An Essay on the History of the Idea of Nature*, by Hadot, translated by, Michael Chase, Belknap-Harvard UP, 2006, pp. 1-3.

● 既刊の学術論文を引証する場合。

出版された学術論文を引用する場合、引用した論文のタイトルの後に Diss. (=Dissertation)と記す。

著者. タイトル. Diss. 大学名, 年号. 出版社名, 年号. 媒体.

Fullerton, Matilda. *Women's Leadership in the Public Schools: Towards a Feminist Educational Leadership Model.* Diss. Washington State U, 2001. UMI, 2001.

また、その論文が出版社からではなく個人的に出版された場合は、出版社名の代わりに privately published と記す。

著者. タイトル. Diss. 大学名, 年号. 都市名: privately published, 年号. 媒体.

Wendriner, Karl Georg. *Der Einfluss von Goethes Wilhelm Meister auf das Drama der Romantiker.* Diss. U Bonn, 1907. privately published, 1907.

● 未刊の学術論文を引証する場合。

- a. タイトルは引用符をつけ、イタリック体にしない。
- b. タイトルの後に Diss. という記述標識、学位を授与した大学名、コンマ、年の順に記し、最後は出版媒体で終える。
- c. 修士論文を記載するには、Diss.の代わりに該当する標識を用いる。(例：MA thesis, MS thesis)

(例)

・ Kelly, Mary. "Factors Predicting Hospital Readmission of Normal Newborns." Diss. U
論文のタイトル / Diss. /
of Michigan, 2001.
学位を授与した大学名,/年/

C. 書籍以外のメディア

● ウェブサイトから詩を引証する場合。

著者名. “作品名.” 作品の大元 (あれば), 出版社, 出版年, サイト名, サイトの編集者(あれば), バージョン (あれば), URL, アクセス日 (明記する必要があるあれば).

Williams, William Carlos. “The Red Wheelbarrow.” *The Collected Poems of William Carlos Williams, Volume I, 1909-1939*, edited by Christopher MacGowan, New Directions Publishing Corporation, 1938, *Poetry Foundation*, www.poetryfoundation.org/resources/learning/core-poems/detail/45502.

- URL を引証する際、「http://」は削除する。
- ウェブサイトから詩を引用する際は、Poetry Foundation.org が便利で、一番信用できる。まずは Poetry Foundation.org で調べてみることを推奨する。
- Poetry Foundation.org 上で詩の作品情報は、下の画像の赤枠で囲んだ場所に掲載されている。この情報を参考に引証資料リストを作成すれば良い。

The screenshot shows the Poetry Foundation website page for "The Red Wheelbarrow" by William Carlos Williams. The poem text is displayed in the center. Below the poem, there is a red-bordered box containing the citation information: "William Carlos Williams, “The Red Wheelbarrow” from *The Collected Poems of William Carlos Williams, Volume I, 1909-1939*, edited by Christopher MacGowan. Copyright 1938 by New Directions Publishing Corporation. Reprinted by permission of New Directions Publishing Corporation. Source: *The Collected Poems: Volume I 1909-1939* (New Directions Publishing Corporation, 1938)".

● ウェブサイトから論文を引証する場合。 (第 8 版, p. 32)

【英語のサイトの例】

Goldman, Anne. “Questions of Transport: Reading Primo Levi Reading Dante.” *The Georgia Review*, vol. 64, no. 1, 2010, pp. 69-88. *JSTOR*, www.jstor.org/stable/41403188.

【日本語サイトの例】

吉田亜矢、「ウィリアム・カーロス・ウィリアムズの『自由』詩：variable foot の考察」、
『歴史文化社会論講座紀要』、第 9 号、147-165 頁、『京都大学リポジトリ：KURENAI』、
hdl.handle.net/2433/154826。

- a. URL を引証する際、「http://」は削除する。
- b. 構造は海外サイトと同じ。
- c. それぞれは読点で区切り、最後を句点にする。
- d. 書物と同様にサイト名が英語だった場合も『 』で括る。
- e. 日付はすべて年月日の順にする。

アクセス日の引証が必要な場合の例（第 8 版, p. 53）

“Under the Gun.” *Pretty Little Liars*, season 4, episode 6, ABC
Family, 16 July 2013. *Hulu*, www.hulu.com/watch/
51138. Accessed 23 July 2013.

引用元の制作または出版された日が明確でない場合は、サイトへのアクセス日を明記する必要がある。

しかしアクセス日は常に明記する必要はない。アクセス日を書くことであなたの論文を読む人がソースを追いやすくなるかどうかを判断し、必要であれば明記する。

● オンライン上の映像作品を引証する場合。（第 8 版, p. 33）

2013 年放送の “Under the Gun.” は、テレビドラマシリーズ *Pretty Little Liars* のエピソードの 1 つである。このシリーズは *Hulu* で鑑賞した。

（例）

“Under the Gun.” *Pretty Little Liars*, season 4, episode 6, ABC Family, 16 July 2013.
Hulu, www.hulu.com/watch/511318.

- **オンライン上の音楽作品を引証する場合。** (第 8 版, p. 28)

(例)

Beyoncé. “Pretty Hurts.” *Beyoncé*, Parkwood Entertainment, 2013, www.beyonce.com/album/beyonce/?media_view=songs.

- **映画を引証する場合。** (第 8 版, p. 41)

(例)

Kuzui, Fran Rubel, director. *Buffy the Vampire Slayer*. Twentieth Century Fox, 1992.

- **展示物を引証する場合。** (第 8 版, p. 49)

(例)

Bearden, Romare. *The Train*. 1975, Museum of Modern Art, New York.

- **マンガを引証する場合。** (第 8 版, p. 31)

(例)

Clowes, Daniel. *David Boring*. *Eightball*, no.19, Fantagraphics, 1998.

Soule, Charles, et al. *She-Hulk*. No. 1, Marvel Comics, 2014.

D. マイナーな引証

● シリーズ中の書物

a. タイトルページもしくはその前のページに、書物がシリーズの一部であることが記されていれば、リストの最後、出版媒体の後に、シリーズ名（イタリック体にしたり引用符をつけたりしない）、シリーズ番号（もしあれば）、ピリオドの順に記す。

b. シリーズ名の中の語には、一般的な略称を用いる。

c. シリーズ名の一部として Series が入っていれば、Ser. と略す。

(例)

・ Anderson, Danny, and Jill S. Kuhnheim, eds. *Cultural Studies in the Curriculum:*

出版情報

Teaching Latin America. MLA. 2003. Teaching Langs., Lits.,

シリーズ名

and Cultures.

・ Muck, Alfreda. *Poetry and Painting in Song China: The Subtle Art of Dissent*.

出版情報

Harvard UP, 2000. Print. Harvard-Yenching Inst. Monograph Ser. 50.

シリーズ名

Series の略

シリーズ番号

● 再販の場合。

編者名, ed. 作品名. 出版情報. Rpt. of spec. issue of 雑誌名 雑誌の巻. 発行番号 (発行年):
ページ数

※編者が複数の場合、eds.と表記する。

(例)

Appiah, Kwame Anthony, and Henry Louis Gates, Jr., editors. *Identities*. U of Chicago P, 1995. Rpt. of spec. issue of *Critical Inquiry* 18.4 (1992): 625-884.

● 内部出版の場合。

出版社はしばしば自社の発行する書物を内部出版名で、つまり、特別な名称で、分業出版する。(図 27 を見よ)。たとえば、Doubleday 社には Anchor Books, Crime Club, Double D Western など多くの内部出版名がある。タイトルページに出版社名とともに内部出版社名が記されている場合は、内部出版社名を記し、ハイフンで結んで出版社名を書く (“Anchor-Doubleday”, “Collier-Macmillan”, “Vintage-Random”)。

Cassidy, Frederic, and Joan Houston Hall, editors. *Dictionary of American Regional English*.

4 vols. to date. Belknap-Harvard UP, 1985-.

Morrison, Toni. *Sula*. 1973. Vintage- Random, 2004.

Rhodes, Dan. *Timoleon Vieta Come Home: A Sentimental Journey*. Harvest-Harcourt, 2004.

● 小冊子・パンフレット・公式発表を引証する場合。

- a. 小冊子・パンフレットは、書物と同様に扱う

(例)

Modern Language Association. *Language Study in the Age of Globalization: The college-Level Experience*. MLA, n.d.

- b. プレスリリースも書物と同様である。ただし発表された年(可能であれば月日も)を明記すること。

(例)

Modern Language Association. *Modern Language Association Announces New and Improved MLA Language Map*. MLA, 18 Apr. 2006.